

設問別調査結果 [国語A：主として知識]  
全国一児童（私立）

・以下の集計値は、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

児童数	学校数	平均正答率(%)
4,714	85	83.0

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	84.9
	書くこと	4	90.6
	読むこと	2	80.2
	言語事項	12	79.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	1	84.9
	話す・聞く能力	1	84.9
	書く能力	4	90.6
	読む能力	2	80.2
	言語についての知識・理解・技能	12	79.5
問題形式	選択式	5	85.9
	短答式	12	81.7
	記述式	1	84.9

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式		
1- (1)	漢字を読む(駅は混雑している)				○						○	○	98.4	0.6
1- (2)	漢字を読む(春から夏へ季節が移る)	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読む			○						○	○	97.7	0.3
1- (3)	漢字を読む(めずらしい植物を採集する)				○						○	○	88.1	0.7
1二(1)	漢字を書く(びょういんに行く)				○						○	○	90.8	0.9
1二(2)	漢字を書く(人の意見にさんせいする)	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく書く			○						○	○	89.3	2.9
1二(3)	漢字を書く(重い石をはこぶ)				○						○	○	91.6	3.1
2_1	ローマ字で書く(くすり)	ひらがなで表記されたものをローマ字で書く			○						○	○	83.8	3.1
2_2	ローマ字で書く(たべもの)				○						○	○	73.2	5.0
2_3	ローマ字を読む(happa)	ローマ字で表記されたものを正しく読む			○						○	○	80.8	8.2
3	はがきの表書きに必要な事柄を選択する	はがきの表書きに必要な事柄の順序を考えて書く	○								○		75.8	0.1
4ア			○								○		90.8	0.2
4イ	実験報告文の小見出しとして適切なものを選択する	文章の内容に合わせて、小見出しを書く	○								○		98.2	0.2
4ウ			○								○		97.6	0.2
5	文章の表現の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	文学的な文章の表現の工夫をとらえる			○	○					○	○	66.9	0.1
6	図鑑を読んで必要な内容をとらえる	段落の内容を的確にとらえる			○						○		93.4	1.0
7	司会の進め方の良いところを説明する	司会の役割や働きをとらえて、話し合いを計画的に進める	○				○	○				○	84.9	4.3
8	接続語を使って一文を二文に分けて書く	文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く			○						○	○	43.1	6.1
9	毛筆の下書きについて書き直す内容を書く	文字の大きさや配列に注意して書く			○						○	○	50.5	9.9

設問別調査結果 [国語B：主として活用]  
全国一児童（私立）

・以下の集計値は、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

児童数	学校数	平均正答率(%)
4,715	85	64.8

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	5	73.4
	書くこと	2	26.9
	読むこと	3	75.5
	言語事項	2	75.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	6	62.3
	話す・聞く能力	5	73.4
	書く能力	2	26.9
	読む能力	3	75.5
	言語についての知識・理解・技能	2	75.5
問題形式	選択式	2	78.7
	短答式	2	58.4
	記述式	6	62.3

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式			短答式
1ー	報告文を読み、メモの中に調べた内容の1つめを書く	調べる内容を見通して、必要な事柄を整理する	○				○				○			21.8	8.5
1二	報告文のまとめとして、調べて分かったことを書く	目的や意図に応じて、事象や意見などを関係付けながら書く	○			○	○					○		32.0	6.0
2ー	話し合いの中で出された意見を二つの立場に分ける	話し手の立場や意図をとらえて聞く	○				○				○			85.7	0.4
2二	「そうじや整とんによく取り組んでいる」とする立場から自分の考えを発表する	自分の立場や意図を明確にして話し合う	○			○	○					○		35.5	4.2
3ー	説明文の冒頭部分を読んで、書き方の工夫として適切な内容を選択する	筆者の表現の工夫に着目して読む			○				○		○			71.6	2.0
3二(1)	筆者の考えを自分の言葉で書き換えたり要約したりして書く	目的や意図に応じて、自分の考えをまとめる			○		○		○			○		82.4	3.3
3二(2)					○		○		○			○		72.6	6.2
4ー	作戦カードをもとに、ボールを渡す順番を整理する	目的や意図が伝わるように必要な情報を取り出す	○				○				○			95.0	2.0
4二ア	作戦カードをもとに、チームの攻め方を説明する	目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明する	○			○	○	○		○			○	73.0	4.8
4二イ			○			○	○	○		○			○	78.0	5.1

設問別調査結果 [算数A：主として知識]  
 全国一児童（私立）

・以下の集計値は、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

児童数	学校数	平均正答率(%)
4,714	85	89.2

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	9	90.6
	量と測定	3	87.5
	図形	3	92.3
	数量関係	3	83.7
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	0	
	数量や図形についての表現・処理	12	89.0
	数量や図形についての知識・理解	6	89.7
問題形式	選択式	5	85.8
	短答式	13	90.5
	記述式	0	

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式			
1(1)	153+49 を計算する	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	○						○			○			98.1	0.0
1(2)	725×8 を計算する	整数の乗法の計算をすることができる	○						○			○			94.5	0.1
1(3)	204÷4 を計算する	整数の除法の計算をすることができる	○						○			○			98.5	0.1
1(4)	48.1÷1.3 を計算する	小数の除法の計算をすることができる	○						○			○			92.7	0.6
1(5)	7/6-2/6 を計算する	同分母の分数の減法の計算をすることができる	○						○			○			98.8	0.0
1(6)	80-30÷5 を計算する	減法と除法の混合した整数の計算をすることができる				○			○			○			88.1	0.1
2(1)	数直線上に示された1万より大きい数を読み取る	数直線から数を読み取ることができる	○						○			○			77.1	0.1
2(2)	100を45個集めた数を書く	数の構成について理解している	○						○			○			89.2	0.1
2(3)	74291を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを選ぶ	数を四捨五入して、概数で表すことができる	○						○			○			87.3	0.1
2(4)	整数の中から偶数を選ぶ	偶数の意味について理解している	○						○	○					79.1	0.1
3	千円札を長方形とみると、長い方の辺はどれくらい長さか選ぶ	長さについての感覚を身に付けている		○					○	○					93.3	0.1
4	90度より大きい角の大きさを測定する場面で、分度器の目盛りを読む	角の大きさを測定する場面で、分度器の目盛りを読むことができる		○					○			○			85.2	0.1
5(1)	四角形を1本の対角線で2つの三角形に分けたときの、四角形の4つの角の大きさの和を求める式を書く	四角形の4つの角の大きさの和の求め方を理解している			○				○			○			85.5	2.6
5(2)	長方形を1本の対角線で切ったときにできる図形の名前を選ぶ	長方形、直角三角形の定義や性質について理解している			○				○	○					94.2	0.3
5(3)	平行四辺形の2つの辺の長さが10cm、8cmのとき、指示された辺の長さを答える	平行四辺形の向かい合う辺の長さが等しいという性質を理解している			○				○			○			97.0	0.3
6	方眼上の三角形の面積を求める式を書く	三角形の面積を求めることができる		○					○			○			84.2	1.8
7	200人のうち80人が女子のとき、女子の人数の割合は全体の何%か選ぶ	百分率を求めることができる				○			○			○			75.2	0.2
8	表に当てはまる資料の個数を答える	資料を2つの観点から分類整理し、表を用いて表すことができる				○			○			○			87.7	0.5

設問別調査結果 [算数B：主として活用]  
 全国一児童(私立)

・以下の集計値は、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

児童数	学校数	平均正答率(%)
4,715	85	67.4

※ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	6	67.2
	量と測定	6	75.7
	図形	4	68.4
	数量関係	4	68.6
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	10	60.3
	数量や図形についての表現・処理	4	85.1
	数量や図形についての知識・理解	0	
問題形式	選択式	2	78.3
	短答式	7	76.7
	記述式	5	50.0

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式			
1(1)	壁の高さを階段を使って調べるために必要な情報を選び、求める式を書く	図形を見だし、長さを求めるために必要な情報を選択し、求める方を式に表すことができる	○		○				○			○			65.9	0.7
1(2)	示された高い場所の長さを直接測らなくても、別の場所の長さを測れば調べることができるわけとして正しい記述を選ぶ	示された部分の長さを直接測らなくても調べられる理由を、図形の性質を基に考えることができる			○				○						77.0	0.6
1(3)	長方形の紙にかかれた6つの円の半径の求め方について、長方形の縦の長さを使った求め方を基に、横の長さを使った求め方を書く	示された解決方法を理解し、見方を変えた別の解決方法を考え、それを記述することができる			○				○			○			42.2	1.2
2(1)	上皿でんびんで消しゴムと分銅がつり合っていることを基に、消しゴムの重さを求める	整数と小数の加法を用いて、重さを求めることができる	○	○					○			○			95.9	0.2
2(2)	3つの実験を基に、黒の球の重さの範囲を書き、その範囲に当てはまる重さを選ぶ	実験を基に筋道を立てて考え、重さの範囲を記述し、当てはまる重さを選択することができる			○				○			○			63.6	1.7
3(1)	目的の時刻までに着くバスの発車予定時刻を時刻表から選び、その時刻を書く	与えられた条件に合う時刻を、筋道を立てて考え、時刻表から選択することができる			○				○			○			60.9	1.6
3(2)	船の入港数を表した棒グラフを見て、2005年の船の入港数が、最も多い年と比べて約何隻減少したのか答える	棒グラフから必要な数量を読み取り、差を概数で見積もることができる	○			○			○			○			67.3	2.0
3(3)	2種類の品物を買うとき、与えられた条件では、ハンカチを買うともう1種類の品物が買えないわけを書く	情報を整理選択し、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を記述することができる	○						○			○			29.4	2.2
4(1)	縦4cm、横5cmの長方形の板に縦2cm、横1cmの長方形のカードを敷き詰める図を2通りかき、必要なカードの枚数を書く	カードの敷き詰め方を2通りかき、必要なカードの枚数を求めることができる			○	○						○			88.6	0.4
4(2)	縦5cm、横7cmの長方形の板に縦2cm、横1cmの長方形のカードを敷き詰められないと判断するための考えを書く	示された長方形の板にカードを敷き詰められないと判断する方法を記述することができる	○	○					○			○			75.7	6.0
4(3)	縦2cm、横1cmの長方形のカードを敷き詰められない長方形の板を考え、その辺の長さを書く	調べた結果を振り返り、きまりを見だし、カードを敷き詰められない例をつくることができる	○	○					○			○			69.4	2.4
5(1)	4月に集めたペットボトルの重さをグラフから読み取る	グラフから必要な数量を読み取ることができる				○			○			○			88.6	1.1
5(2)	グラフを見て、集めた空き瓶の重さの変化についての正しい記述を選ぶ	グラフの特徴を基に、数量の変化の様子をとらえることができる				○			○			○			79.6	1.1
5(3)	4月と6月の全体の重さを基にしたペットボトルの重さの割合の大小関係をとらえ、判断のわけを書く	基準量と比較量を基にして、割合の大小を判断し、その理由を記述することができる				○			○			○			38.9	1.8